

令和4年度第2回浜松市保健医療審議会会議録

- 1 開催日時 令和5年2月2日（木） 午後7時30分～午後8時30分
- 2 開催場所 オンライン会議（事務局 浜松市口腔保健医療センター会議室A・B）
- 3 出席状況 委員 9名
 滝浪實会長 ・ 荻野和功副会長
 金子寛委員 ・ 岸本肇委員 ・ 木村裕一委員 ・ 品川彰彦委員
 正田栄委員 ・ 羽田浩史委員 ・ 山本隆弘委員
- 事務局 30名
 鈴木医療担当部長・西原保健所長・板倉健康福祉部医監・
 二宮精神保健福祉センター長・中村看護専門学校課長・牧野保健環境研
 究所長・徳増病院管理課課長・北野谷佐久間病院事務長・平野健康増進
 課課長・渥美健康増進課課長補佐・原川健康増進課ウェルネス推進担当
 課長・田辺健康増進課主幹・木谷健康増進課技監・渥美健康増進課技監・
 渥美健康増進課主任・川瀬口腔保健医療センター一般職員・鈴木保健総
 務課課長・山下生活衛生課食品衛生担当課長・落合生活衛生課感染症対
 策担当課長・山本保健所浜北支所長・恒川高齢者福祉課課長・鈴木高齢
 者福祉課医療・介護推進担当課長・竹村国保年金課長・加藤介護保険課
 課長・小久江警防課救急管理担当課長・鈴木健康医療課夜間救急室専門
 監・島健康医療課課長・西崎健康医療課課長補佐・高井健康医療課主幹・
 榊原健康医療課一般職員
- 4 傍聴者 0名
- 5 議事内容 審議事項
 (1) 健康はままつ 21（第二次浜松市健康増進計画）の市民アンケート
 結果（暫定値）及び最終評価（案）について
 報告事項
 (1) 9価HPVワクチンの定期接種化について
 (2) 第3次浜松市がん対策推進計画及び第4次浜松市自殺対策推進計画
 の策定について
- 6 会議録作成者 健康医療課 榊原

8 会議記録

1 開会

(島健康医療課長)

本日は委員の皆さまには、大変お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

令和4年度第2回浜松市保健医療審議会を始めさせていただきます。進行役は健康医療課の島でございます。

会議の開催にあたりまして、健康福祉部医療担当部長の鈴木よりご挨拶申し上げます。

(鈴木部長)

会議に先立ちまして、一言ご挨拶申し上げます。まず、コロナについて触れておきたいと思えます。11月12月には感染者が非常に増加いたしました。いわゆる第8波でございますが、先々週からやっと減少傾向に転じてきました。今回の年末年始は久々に行動制限がなく、またコロナに対する国民の意識が変わる中で感染が拡大し、本市においても二次救急病院をはじめとした救急現場では、一般救急と相まって大変厳しい状況が続いてきました。この場を借りて、本日の救急を支えていただいている医師の先生方に厚く御礼を申し上げます。

また、本年5月8日より新型コロナウイルス感染症は感染症法の位置づけにより5類に変わることが言われておりますが、これまで3年にわたりコロナの対応そしてワクチン接種に多大なるご協力をいただき、重ねて心から御礼を申し上げます。

さて、本審議会でございますが、地方自治法の規定に基づきまして、保健・医療等に対する事項を審議するため、条例により設置されております。本日の審議会では、本市の健康増進計画である健康はままつ21の市民アンケート結果と最終評価についてご審議をいただきます。また、9価HPVワクチンの定期接種化、そしてがん対策推進計画と自殺対策推進計画の策定についてもご報告させていただきます。限られた時間ではございますけれども、委員の皆様にはぜひ忌憚のないご意見、そして活発な意見交換をしていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(島健康医療課長)

本日の審議会につきましては、委員総数15人のうち、9人のご出席をいただいております。浜松市保健医療審議会条例第4条第2項によりまして、会議が成立していることをご報告申し上げます。それでは、浜松市保健医療審議会条例第4条第1項に基づきまして、滝浪会長に議長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

(滝浪会長)

それでは皆様、審議会を進めさせていただきます。医療担当部長からご挨拶がございま

したけれども、コロナ禍で皆さま方非常にご苦勞いただいているかと思ひます。コロナはやっと少しずつ収束の方向に向かっているという印象があるかと思ひます。しかしながらウイルスが変わっているということではございませんで、それと付き合い、動向を見ながら普段の医療、そしてこの健康増進についてぜひご意見をいただきたいと思ひます。本日はよろしくお願ひいたします。

それでは議事に入る前に本審議会の公開について各委員の了承をいただきたいと思ひます。本日の審議会では個人情報などの非公開情報を審議する予定が無いようですので、浜松市情報公開条例により議事を公開するというにしておよろしいでしょうか。また傍聴希望者がいる場合は傍聴を許可したいと思ひますが、よろしいでしょうか。

(委員の了承を確認した)

2 議事

(滝浪会長)

それでは、議事に入ります。

はじめに、審議事項(1)の「健康はままつ21(第二次浜松市健康増進計画)の市民アンケート結果(暫定値)及び最終評価(案)について」事務局から説明を求めます。

(平野健康増進課長)

資料1-1および1-2に基づき説明した。

(滝浪会長)

委員の皆様から、それぞれのお立場でご意見、ご質問をいただきたいと思ひます。いかがでしょうか。

荻野先生お願ひいたします。

(荻野副会長)

丁寧な説明ありがとうございました。本当かなと思ふ数字でしたが、健康寿命を見て、政令都市の中で浜松市が1番だったかと思ひますが、お達者度はアンケートの結果を聞いて出す健康寿命より、より客観的な数字と聞いています。確かに浜松市と静岡県全体の比率はよく分かりますが、お達者度は浜松発、静岡発の統計ではないと思ふので、ぜひ全国の値を見せていただきたいと思ひました。データとして持っているようでしたら教えていただきたいです。

また、全体を通じてですが、達成度がどのくらいあったかということで、全体で55%ということですが、20年30年先に結果が出てくるような生活習慣病や栄養・食生活や運動など、子どもも全然歩かないとかこういうのを聞いてみると、何年か先まで責任を持って我々は計画を立てないといけないと思ひますので、何十年先に結果が出るような現在の値はひどいものだと思ひて聞いていました。そのへんについてコメントいただければと思ひます。

(平野健康増進課長)

お達者度については、それぞれが算出できることになっているので、全国のお達者度が分かります。また、次回ご提示させていただきたいと思っています。

私たちも、分野別の評価を見たときに、やはり生活習慣病、栄養・食生活などの数字が低いところはびっくりしました。自分たちが一生懸命やってきたところが、実はあまりうまくいっていなかったというところが率直な感想です。次回の計画は12年間の計画になります。高齢化になる、みんながデジタルを使ってあまり動かなくなる、若い女性のやせが多くなるといった色々な危機感を持っているので、ただ単純に私たちが周知啓発をする、待っているだけの健康教育・健康相談ではなく、企業など関係団体と連携をとりながらやっていかないとなかなかうまくいかないと考えています。そのため今までのやり方でうまくいかなかったところについては、いろいろな方とこれから話をしていきながら、また今健康増進課ではアプリを使っているのでも、やったことについてインセンティブをつけるなどの取り組みも今後新しいこととして取り組んでいきたいと考えています。

(荻野副会長)

淡々とした説明の割には、危機感を持っていることが感じられて安心しました。ぜひ、次の計画で何年か先、何十年か先に結果が出るようなところをもっと重要視して、途中の中間評価でも結果が出るような統計の取り方をお願いできたらと思います。

(滝浪会長)

この3年間は、発信の仕方、情報を収集するという点について、非常に苦勞をされたかと思います。その方法を模索されているかと思うので、みんなが和気あいあいと生活している状況が取り戻せればいいが、なかなか難しいところだと思います。

他にご意見ありましたらお願いします。個別の話でも総括の話でも結構です。

(荻野副会長)

こころの健康のところですが、改善度が100%ということになっていますが、後ろの方のデータで見ると、客観的な数字は自殺の数字を見ているだけですよね。もっと問題は多いと思うので、引きこもりの数や不登校児の数など、そういうものもデータの中に入れていただいて、こころの健康が改善度100%というのは甘いのではないかと聞いていました。

(平野健康増進課長)

健康増進課としては、こころの健康が100%ということは絶対あり得ないと思っておりますが、結果としてはこのように出ました。尾島先生にも相談しましたが、もう少し詳しく調べていきながら、個々に応じた対策も必要ということで、この分野についてはもう少し深掘して分析していきたいと思っています。

(荻野副会長)

次期計画でいい数字が出ることを期待しています。現実離れしていない正しい数字が出ることを期待しています。

(滝浪会長)

資料をご覧いただければと思いますが、アンケート調査でありますので、限られた時間、あまり長いアンケートだと飽きてしまって参加度が低くなってしまいますので、今回アンケートの回収率を最終的に50%以上に持ち上げていただいたところは、アンケートのやり方も評価していいと思います。ただ、そうすると、やりやすいけれど深堀が少ないというのが、荻野委員のご指摘の結果になっていると思うので、アンケートの回答率がいいというのは逆に言うと簡単だったということになってしまいかと思います。アンケートの方法も少し考えながら、フリーコメントも出していただけると、常日頃から言いたいこと、ちょっとここだけは言いたいよというところが出てくると、拾い上げの情報になるかもしれないと思いました。

木村先生、歯の方では非常にいい結果が出ていますがいかがでしょうか。

(木村委員)

歯の健康について、ここではいい結果は出ていますが、日頃診療をしていて気になるころは、コロナで人と会うことが少なくなって話ができないということで、口を動かさなくなり、筋力が落ちて食べられないという方が高齢者でたくさん見受けられます。ここでは口の機能と書かれていますが、今までは歯周病で噛めなくなるということでしたが、筋力が落ちて噛めなくなるということが見えてきました。機能的なところで考えるのであれば、口腔の周りの筋肉の機能の低下というところも見ていかないといけないのではないかと、専門的なところで思うところがあります。

(滝浪会長)

ありがとうございました。ご意見をまた反映していただければと思います。

医療機関もですが薬局の方も常日頃普段の生活のなかで相談を受けることが多いかと思えます。品川先生いかがでしょうか。

(品川委員)

アルコール/薬物のところで、聞きたいことがあります。薬物事犯検挙数が増加したということですが内訳を把握されていれば教えていただきたいです。例えば覚醒剤事犯が増えているのか、大麻の事犯が増えているのかなど。

(木谷技監)

県警からいただいた数値であり、これ以上の細かい男女別、年代別、内容についての内訳の情報はいただけませんでした。分かるのはこの情報だけということになります。

(品川委員)

最近、大麻の事例が非常に増えています。特に大麻に対する誤った知識が氾濫しているので、啓発が今後課題だと考えています。

(木谷技監)

薬物のところについては、薬剤師会の皆さま、学校などをとおして啓発が必要になると考えるので、関係機関、団体と協力しながら広く進めていく必要があると考えます。どういったところで検挙されることが多いのかということ把握できるようであれば、問い合わせしてみたいと思います。

(滝浪会長)

思春期と中高年層での薬物に対する意識の変わり方を啓蒙しないといけないということだと思われま。ぜひ薬剤師会の先生方にもご協力いただき、市からの啓蒙方法も、思春期のいろいろなことも加味するというご意見だと思われるので、計画の中に入れていただきたいと思います。

羽田先生、労働環境の面からご意見はありますでしょうか。

(羽田委員)

労働環境からは特にはないですが、アンケートの有効回答のところ、働いている世代の20～60歳くらいのところの有効回答数が少ない。12年の計画とすると、この年代の回答率の向上が課題になるかと思われま。それについてどのように考えているのでしょうか。

(木谷技監)

おっしゃる通りの状況だと思います。今回、最初は郵送で質問票を送り、途中経過を見て、「思春期」と「青年期・壮年期」の年代は回答率がかなり低かったため、前回の回答率に及ばないと考え、この2つの年代についてはハガキでもう一度回答のお願いをしました。そうしたところ、「思春期」と「青年期・壮年期」については、前回をかなり上回る回答率が出たという結果はありますが、中年期については、前回並みに回答があるという思いもあり、ハガキを送らなかつたという経緯があります。結果を見ると、中年期についても、ハガキを送るとより回答があつたのではないかという感触があるので、そこは反省点となっています。今回、WEB回答を取り入れたことと、追加のお願いを送つたということで、前回の回答率をかなり上回つたので、今後も工夫をして回答しやすいものにしていきたいと考えています。

(滝浪会長)

せっかくいろいろな団体の方がお見えなので、今後の方向性でいろいろなところと協力しながら計画を立て推進していくという話があり、アンケートも一つの推進事業となるので、それも協力していただくことがいいのではないかと思います。市からダイレクトメールで発信するという点に関して、関心度が少し上がったとはいえ、まだ青壮年層には届

いていないという印象なので、企業や団体の代表者の方と協力をしながらやっていくのも一つの手ではないかと思われまます。今後のアンケートのとり方も、無作為で考える状況も分かりますが、集団の中での無作為を考えた方がいいかもしれません。やり方については尾島先生のご教授をいただければと思います。

各医師会の先生方がいかがでしょうか。

(岸本委員)

特に意見はありません。

(金子委員)

日頃、生活習慣病の方を多く診ていますが、内臓脂肪症候群や高血圧、糖尿病の有病者が増えているというのは、運動のところが全部悪くなっているというところに関係しているのではないかと思われました。これがコロナウイルスが流行って一時的に下がっているだけならいいのですが、今後ポストコロナでよくなっていくのか、悪くなっていくのか、みていくのは大事かと思ひます。

(正田委員)

一つの切り口として、12年計画であるならば、今の20代が30歳になった時にその集団の結果がどう推移するか、たばこかアルコールなど若い世代がどうなっていくかなど、運動に関しても同じ集団が年をとったらどうなるのかが簡単に分かると、それはそれで面白いのではないかと思ひました。次の検討でそういうことがあればよろしくお願ひします。

(滝浪会長)

年代の推移ですね。

先ほど食育のことで少しお話があったかと思ひますが山本先生いかがですか。

(山本委員)

立場上、食生活のところが気になるところになります。評価のところでは年代ごとにいろいろ特徴があるということが改めて気づかされたところ。アンケートの回答率のところでは、45～64歳や20～24歳が低いので、ここに書かれている内容が全体を示しているのかそれとも偏りがあるのかということが気になりました。先ほどいろいろな団体をとおしてアンケートの協力をという話がありましたが、私の団体も120近くの企業や施設が加入している。そういったところからもアンケートの協力をお願いできるのではないかと思ひました。ただ、先ほどの話の中で無作為抽出という話も聞いたので、そこでPRしても一律に該当する訳ではないとも思ひました。回答率を上げるための支援やサポートというところで、どのような関わりができるのかと考えながら聞かせてもらいました。

(滝浪会長)

ありがとうございました。ぜひご協力のほどよろしくお願ひいたします。

皆さま方ご意見いただきありがとうございました。事務局の方も、先生方のご意見を伺って、計画に反映していただけるということだと思います。

続きまして報告事項に移らせていただきます。報告事項(1)9価 HPV ワクチンの定期接種化について事務局から説明をお願いいたします。

(平野健康増進課長)

資料 2 に基づき説明した。

(滝浪会長)

ありがとうございました。事務局からの説明について、委員の皆様からそれぞれのお立場でご意見、ご質問をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

心配されたワクチンが定期接種になるということで、関係各所には説明をしていただいて対象の人たちにも丁寧な説明が要るかと思います。

正田先生お願いいたします。

(正田委員)

今回の件とは直接関係はありませんが、HPV ワクチンはどのくらいの接種率があるのでしょうか。

(田辺主幹)

令和 3 年度につきましては接種率が 46.6%になります。令和 4 年 4 月から 11 月までの接種につきましては 22.8%です。もう一点、キャッチアップ接種の実績です。令和 4 年 4 月から 11 月までにつきましては、延べ人数となりますが、平成 9 年度から平成 17 年度生まれの女子で延べ 2,769 名の方が接種をしています。

(正田委員)

ありがとうございます。知り合いではコロナの業務が忙しくて HPV ワクチンを打てないと言っている方がいたので聞いてみました。

(滝浪会長)

予防接種は色々な予防接種がありますので小児科の先生や内科の先生、それ以外の先生もご参加いただいてぜひ予防に徹していただければと思います。不安に思われる方もいらっしゃると思いますので十分な説明が必要かと思われます。よろしくお願いいたします。

続きまして、報告事項(2) 第 3 次浜松市がん対策推進計画及び第 4 次浜松市自殺対策推進計画の策定について事務局から説明をお願いいたします。

(島健康医療課長)

資料 3 に基づき説明した。

(滝浪会長)

ありがとうございました。事務局からの説明について、委員の皆様からそれぞれのお立場でご意見、ご質問をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

がん対策の方でゲノムの話が出たかと思いますが、この地域でゲノムの解析を担当している病院も複数ございますので、そのようなところとぜひ情報共有をしていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。浜松市は政令指定都市ですのでその役割を担うということも大事かと思えます。よろしくお願いいたします。

(滝浪会長)

それではその他、事務局より報告事項がありましたらお願いします。

(島健康医療課長)

議事録の作成を予定しておりますので、ご確認をいただければと思います。

3 閉会

(滝浪会長)

それでは本日の議事は以上ですが、その他、何か皆様からご意見等、ありましたらお願いします。

(委員からの意見がないことを確認した。)

それでは本日の議事は以上でございます。議事が無事終了しましたので事務局へお返しさせていただきます。

島健康医療課長 閉会を告げた。